

【光好畠地売券】
こうこうはたちばいけん

永代売渡申畠之事

合売所者、字

四至

右件之畠者、雖先祖全塚祖慶二讓
与不慮二死去候条、為其入目、片岡左京進
方より竹陰齋へ、直錢七貫五百文二本
文書壱通 相副、売渡申所実正明白也、
於此下地違乱之輩在是者、子々孫々
罷出可申明候、為本役卅文山上へ出申、
猶兎角輩在是者、盜人之罪科二可被
行者也、仍後日之売券文如件、

(一五五九)
永禄三年己未 八月廿五日 光好(花押)